

指定管理者総括調書（令和3年度）

基準日 令和4年3月31日

施設名	大牟田市花ぶらす館		
担当部署	産業経済部産業振興課	電話番号	0944-41-2724

I 指定管理者の情報

指定管理者名及び代表者名	みらい広告出版株式会社 代表取締役 島 哲男		
指定管理者の所在地	大牟田市大字久福木652番地5		
指定期間	令和2年	～	令和6年
指定管理者種類	<input checked="" type="checkbox"/> 市内企業 <input type="checkbox"/> 市外企業 <input type="checkbox"/> NPO・ボランティア団体等 <input type="checkbox"/> コミュニティ組織等 <input type="checkbox"/> 財団法人・社団法人・社会福祉法人・医療法人・学校法人 <input type="checkbox"/> その他		
業務の範囲	①花によるまちづくり及び緑化の推進に関すること ②都市と農村との交流促進に関すること ③地域の特産品の販売促進に関すること ④花にかかわる文化、産業等の情報発信に関すること ⑤その他花ぶらす館の設置の目的達成に必要なこと ⑥花ぶらす館の管理業務に関すること ⑦花ぶらす館の施設管理に関すること ⑧花ぶらす館の研修室・ギャラリーの利用許可に関すること ⑨その他花ぶらす館の運営に必要な業務		

II 施設の情報

所在地	大牟田市四箇新町2丁目1番地		施設 の 設 置 目 的	花のあるやすらぎの空間を提供するとともに、花やガーデニングに関する商品や農作物の展示販売による特産品の振興等を図り、もって本市の農業振興及び地域振興に資する。	
設置年月	平成12年10月	増改築年月			
施設の設置根拠	大牟田市花ぶらす館条例、大牟田市花ぶらす館条例施行規則				
施設の概要	敷地面積	4,135	m <sup>2</sup>	【1階】物産販売所、ガーデン展示室 【2階】研修室、交流室、ギャラリー 別館(旧地域振興整備公団現地事務所) 駐車場120台	
	延床面積	1,875	m <sup>2</sup>		
実施事業の概要	休館日	毎月第3水曜日、1月1日及び同月2日	開館時間	9:00～18:00	
	必須事業	事業計画書の作成 月例報告書及び事業計画書の作成 セルフモニタリング及び自己評価 市及び関係機関等との連絡調整業務 指定期間終了等に当たっての業務の引継ぎ 花ぶらす館管理運営業務 利用料金の収受に関する業務 情報発信業務 その他の管理運営業務(苦情・事件の処理、災害等非常時の対応、市の貸与備品等の管理等)			
	提案事業	① 旬フェア ② 花フェスタ ③ 「レールキッチンマルシェ～おおむたセレクション」に参加 ④ 秋の実り収穫祭 ⑤ 「テイクアウトフェスinお花見公園」に出店 ⑥ 開駅21周年誕生祭 ⑦ お正月用品セール ⑧ 健康ぶらすフェア			
料金	利用料金制度	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	TRUE		

III 施設の利用状況

区分			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績
	開館日数	単位	日	349	351		
施設の総利用者数等	単位	人	157,264	180,496			
個別事業における利用状況等の推移							
施設利用状況等の推移							
利用料金収入	施設の利用料金収入	単位	千円	30	0		

#### IV モニタリング結果

##### 管理運営評価シートの結果

評価結果	204点 / 285点	I 施設の運営 103点 / 150点 II 施設の管理 90点 / 120点 III 継続性・安定性 11点 / 15点 IV その他 0点 / 0点
	(平均点:3.6点)	

##### モニタリング項目に関するコメント

	コメント
I 施設の運営	コロナ禍の中、感染防止対策を講じながら、集客につながる自主事業を継続的に実施するなどして、積極的な運営が行われた。また、職員に対して食品表示や人権等の研修はできているものの、経理事務や設備管理等の研修はできていないなど、今後は職員のスキルアップに向けた取組を進める必要がある。引き続きニーズ把握に努め、利用者が望む商品展開やサービス提供を期待したい。
II 施設の管理	概ね適切な管理が行われているが、緊急時の体制・対応の確認など、安全面の管理については、危機管理マニュアル等を活用した職員研修を継続的に実施し、だれもが対応できる体制を構築していく必要がある。また、施設の老朽化に伴い修繕の必要な箇所が増えてくると思われるが、市との連携により迅速に対応し、利用者が快適に過ごせるよう管理をお願いしたい。
III 継続性・安定性	R3年度は、前年度よりも改善したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響で引き続き来館者数が伸び悩み、経営は厳しいものとなった。今後はアフターコロナを見据え、来館者及び売上増に向けて創意工夫を行いながら、積極的に事業を展開していくことで、安定した経営となるよう改善を行っていく必要がある。
IV その他	

##### 総 評

R3年度においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響で厳しい経営となった。コロナ禍の中、感染防止対策を講じながら、開駅21周年誕生祭やコンサートなど自主事業を可能な限り実施するとともに、SNSやフリーペーパー等を効果的に活用した広報活動を行うなどして、集客増・売上増に向けて努力を続けているが、来館者数及び売上は、わずかな伸びとなっている。

次年度以降こそは、アフターコロナを踏まえ、民間事業者の発想を活かした、利用者にとって魅力的なサービスの提供、ひいては安定した運営が行われることを期待したい。あわせて、地域の農業振興及び住民交流拠点としての地域振興、休憩機能、情報交流機能、利便機能という道の駅の基本機能を十分に発揮することができるよう、市としても支援をしていきたい。